



おうみはちまん 議会だより

2025
(令和7年)

第63号

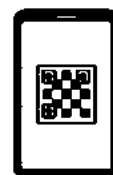
5月1日発行



(ざかいカフェ（議会報告会）
ひよっこだんすくらぶによるオープニングイベント)

今号の主な内容

- 2～3 ◆特集 ざかいカフェ（議会報告会）について
- 4～13 ◆3月定例会の概要・代表質問・個人質問
- 14～17 ◆委員会審査報告・委員会活動報告
- 18 ◆議員研修・議会傍聴案内等・編集後記
- 19～20 ◆提出議案と議決結果一覧・お知らせ



二次元バーコード（個人
質問ページ）で本会議で
の質問の様子をご覧いた
だけます

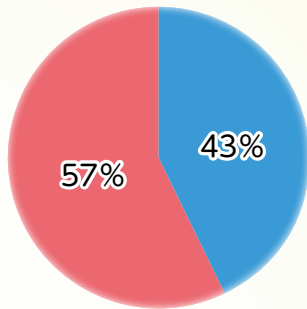
施しました！



【各常任委員会シールアンケート結果】

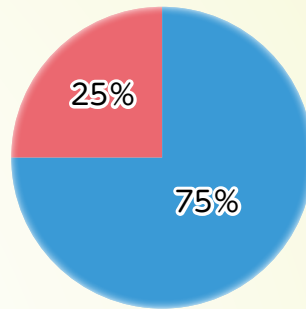
総務常任委員会

①防災グッズを備えていますか



■ YES ■ NO

②避難所を把握していますか



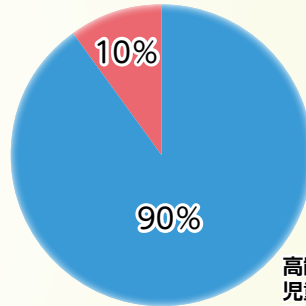
■ YES ■ NO



教育厚生常任委員会



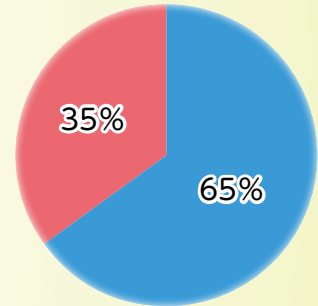
①令和5年度虐待通報件数の数値が多いと思うか



■ YES ■ NO

高齢者 55件
児童 131件
障がい者 19件

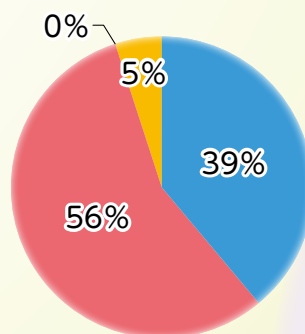
②近江八幡市も国スポ・障スポの開催地であることを知っているか



■ YES ■ NO

産業建設常任委員会

【防災について】
情報の取得方法は次のどれですか



■ テレビ・ラジオ
■ スマホ
■ 防災無線
■ その他



特集 ぎかいカフェを (議会報告会)

令和7年3月29日(土)にイオン近江八幡ショッピングセンター1番街のセントラルコートでぎかいカフェ(議会報告会)を実施しました。近江八幡市議会では、開かれた議会を目指し、昨年度と同様に商業施設において、飲み物を提供しつつ、総務・教育厚生・産業建設常任委員会による活動報告やディスカッションを行いました。また、オープニングイベントでは「ひよっこだんすくらぶ」によるパフォーマンスの披露や今年の秋に開催される国スポ・障スポの案内、シールアンケートやオリジナル名札と缶バッジが作れるクラフトコーナーなど、様々な世代のみなさんに楽しんでもいただけるような報告会としました。



【国スポ・障スポ紹介】
赤コンちゃんとチャッピーも

【クラフトコーナー】



【シールアンケート】

“ぎかいカフェを終えて”

議会を少しでも身近に感じていただきたいと“カフェ方式”で開催しました。議員全員が協力してカフェコーナーやクラフトコーナー、シールアンケートなどを企画しました。また、今年度は国スポ・障スポの開催PRや各常任委員会から所管事務調査の報告を行ったり、オープニングでは“ひよっこだんすくらぶ”の皆さんをお迎えしエネルギッシュなダンスを披露していただいたりと、大変盛況に終えることができました。

議員が考えや立場などの違いを超え“ワンチーム”として、1つの目的のために協力しながら充実した活動することができました。

これからも市政や議会活動の様子をわかりやすくお伝えするとともに、市民の皆さんのお声を反映していけるよう取り組んでまいります。

広報広聴委員会 副委員長 山本妙子

3月定例会の概要

令和7年第1回（3月）市議会定例会を2月14日から3月21日までの36日間の会期で開きました。

2月14日の開会日には、諸般の報告として、議長報告のほか、監査報告及び市長報告の後、市長提出議案として、「令和7年度近江八幡市一般会計予算」の他、合計42議案が上程されました。上程された議案のうち、議第39号について、総務常任委員会に付託され、委員会審査後、本会議を再開し、委員会審査報告のあと採決し、可決しました。

その後、議案熟読の期間を経て再開された2月25日には、追加議案として市長提出議案3件、議員提出議案として意見書4件が上程されました。2月25日、26日に5会派が代表質問を行い、市長の市政方針などについて質問を行いました。

その後、再開された3月5日から7日の3日間で、13名の議員が個人質問を行い、議案質疑や市政全般に対する質問を行いました。

上程された議案および意見書は、予算・総務・教育厚生・産業建設の各常任委員会に付託され、後日開催した各常任委員会でも当局から議案に対する詳細な説明を求め審査を行いました。

21日の閉会日には、各常任委員会

の審査報告の後、討論・採決を行い、全ての議案について承認、可決しました。

また、同日、追加議案として、市長提出議案の予算議案1件、条例議案1件、人事議案1件、議員提出議案の条例議案4件、意見書2件が上程され、うち市長提案の予算・条例議案については予算・産業建設常任委員会に付託され、委員会審査後に本会議を再開し、審査報告のあと採決し、可決しました。人事議案については無記名での投票の採決となり、投票の結果、不同意となりました。議員提出議案については、会第1から4号は賛成多数で、会第5号から10号は全員賛成で可決となりました。

各会派の代表質問は次のとおりでした。

【創政会】

- ① 令和7年度当初予算について
- ② 今後の市政運営について
- ③ 就学前施設待機児童と北里くじら園について
- ④ 少子化対策について
- ⑤ 教育行政について
- ⑥ 子ども・若者育成支援事業について
- ⑦ 国スポ・障スポについて
- ⑧ 近江八幡市立総合医療センターの

運営状況及び令和6年度の決算状況について

- ⑨ 西の湖環境改善について
- ⑩ 観光行政について
- ⑪ 農業問題について
- ⑫ 中小企業に対する支援策について
- ⑬ 空き家対策について
- ⑭ 都市公園・児童公園の整備について
- ⑮ 地域公共交通について
- ⑯ 道路行政について
- ⑰ 河川整備について
- ⑱ 近未来の都市計画について
- ⑲ 危機管理について
- ⑳ ふるさと納税について
- ㉑ 安土城築城450年について
- ㉒ 高齢者施策について
- ㉓ 安土コミュニティエリア整備事業、安土小学校跡地エリア及びコミュニティセンター跡地の活用について
- ㉔ 自治体DXについて
- ㉕ 新市庁舎整備事業及び市民広場整備事業について
- ㉖ 水道事業・下水道事業について
- ㉗ 合併浄化槽について
- ㉘ 学校給食について

【政翔会】

- ① 令和7年度の予算編成と財政見通しについて
- ② 東近江圏域の連携と発展について
- ③ 大災害に対応するための仕組みについて
- ④ 職員を育成する仕組みと守る仕組みについて

⑤ 都市計画マスタープランが導く近江八幡市の将来像について

- ⑥ 地域計画について
- ⑦ 土地改良の安定経営に向けて
- ⑧ 社会教育の立場からの子ども・若者支援について
- ⑨ 上水道・下水道を維持するための方策について

【公明党】

- ① 近江八幡市デジタル田園都市国家構想総合戦略について
- ② 災害に強いまちづくりをめざして
- ③ 高齢者施策について
- ④ 豊かな教育をめざして

【日本共産党】

- ① 令和7年度予算に対する市長の所信
- ② 教育・人づくりについて
- ③ 福祉・医療・人権について
- ④ 環境・歴史・文化に関連して
- ⑤ 産業・観光振興に関わって
- ⑥ 都市基盤整備について
- ⑦ 地域自治・行政経営について
- ⑧ 人権と女性の地位向上、ジェンダー平等について

【育成会】

- ① 過去最大の一般会計予算530億円と持続可能性について
- ② 市政運営に関する疑問点について
- ③ 個別政策、施策事業について

代表質問



創政会

学校給食について

道下直樹



問 こども達の健やかな成長に
なくてはならないもので、食育
の柱である学校給食ですが、本
市では兄弟姉妹の数により第二
子半額減免と第三子無償化を実
施しています。創政会としても
給食費無償化の意見書を国に提
出し、現在国でも給食費無償化
の議論が始まっています。創政
会として給食費完全無償化につ
いて強く要望しますが、市長の
所見について伺います。

答 市長

本市の未来を担う子どもたち
や、保護者のみなさまへの一層
の支援が必要であると判断し、
食べることを通して学ぶ「食育」
は義務教育の一環であるとの強
い認識のもと、小中学校におけ
る給食費の完全無償化を進めて
まいりたいと考えています。

具体的には令和7年度に無償
化を進めるための条例等の整備
を行い、令和8年度4月からの
実施を考えています。また、公

立の小中学校以外の私立の小中
学校や県立の養護学校等に通っ
ておられる本市在住の児童生徒
に対しても、同様の補助を行っ
たいと考えています。



「その他の質疑・質問」

①各会派の代表質問の大項目について
はP4を参照ください

代表質問



政翔会

令和7年度の予算編成と 財政見通しについて

小川広司



問 令和7年度当初一般会計予
算は、令和6年度と比較して
100億円増加の530億円が
計上されています。この予算を
編成された市長の思いを聞かせ
てください。
さて、この度上程された令和
7年度予算は、小西市政2期目
の集大成になるかと思っています。
そこで改めて、市長が掲げられ
た22の公約の達成状況及び達成
見込みについてお聞かせくださ
い。

答 市長

新市庁舎整備事業や安土コ
ミュニティエリア整備事業など
大型施設整備事業の継続実施に
より大規模な財政出動が続く状
況においても、「ハートフルで市
民が主役」、「憧れを持ってもら
えるまち近江八幡」を政策目的
の主眼として、誰一人取り残さ
れることなく、未来に向けて活
力や希望を実感できる『誰もが
輝く希望に満ち溢れた未来創造

型予算』と位置付けました。
公約についても、おおむね実
行することが出来ました。さら
に日々刻々と移り変わる状況へ
の対応や、未来に向けて必要な
事柄に関しては、公約に捉らわ
れずに取り組んで参りたいと考
えています。



「その他の質疑・質問」

①各会派の代表質問の大項目について
はP4を参照ください

代表質問



公明党

近江八幡市デジタル田園都市
国家構想総合戦略について

中塚理恵



問 近江八幡市第1次総合計画後期基本計画の重点戦略として、デジタルの力を活用した社会課題解決や、さらなる魅力向上のため「近江八幡市デジタル田園都市国家構想総合戦略」が掲げられています。現在の進捗状況と具体的な成果を、以下の4つの観点からお示しください。

① デジタル技術を活用した地域課題の解決について

② 地域の魅力向上に向けたデジタル施策について

③ 防災・減災対策のデジタル化について

④ GIGAスクール構想について

答 総合政策部長、総合政策部理事、危機管理監、教育長

① DXを活用した地域課題の解決にむけて4つの事業を実施しています。集団がん検診WEB予約システム整備事業、書かない窓口の導入、コンビニ住民票記載事項証明機能追加、要介護認定事務DX化事業

② 現在、観光に特化した新たなウェブサイトを3月下旬公開に向け製作しています。サイト作成には、インターネットによる市民や観光客の意向調査、滞在人口や人流、携帯電話の位置情報等のビッグデー

タを取得し分析するなど、デジタル技術を活用しています。これまでに、観光コースのウェブページ、安土城の映像を楽しむ体験型アプリの提供やVR技術を活用したシアター上映、本市の魅力伝える動画をYouTubeで公開、XなどSNSで情報発信しています。今後もデジタル技術を活用し、地域の魅力発信に努めてまいります。

③ 新庁舎整備にあわせ、災害時の限られた通信帯域でも利用可能な、市民の安全・安心につながるための災害対策本部システムを整備中です。

④ 小・中学校にAIドリルが導入され、一人ひとりの習熟度に応じた学習を進めています。また、端末を活用し、対話的な学びの実践ができています。さらに、CBT（コンピュータ使用型調査）を活用することで、「個別最適な学び」につながる指導や取組の効果について、検証・改善を行うことにより、子どもたちの「学び力」の向上を図っています。

「その他の質疑・質問」

① 各会派の代表質問の大項目についてはP4を参照ください

代表質問



日本共産党

教育・人づくりについて

森原陽子



問 大項目②の内、学校給食の無償化について、小西市長は、令和8年4月1日より、学校給食費の完全無償化を実施するため、令和7年度中に条例を整備すると述べられました。昨年12月12日、住みよい近江八幡市をつくる会から給食費の無償化を求める署名2095筆が提出されています。多くの市民の願いを受け止めていただきありがとうございます。どのような思いで決断されたのか、市長の考えを伺います。

答 市長

義務教育につきましては、市町村の大きな責務であると思っており、その中でも食育を通して学ぶ「食育」は非常に大事になっています。このような認識のもと、学校給食費の無償化については、様々な政策選択の中、しっかりと進めていきたいということ判断しました。



「その他の質疑・質問」

① 各会派の代表質問の大項目についてはP4を参照ください

代表質問



育政会

市政運営に関する

疑問点について

青木勝治



問 小西市長が就任当初に掲げられた「市民の話に耳を傾け心通い合う市政」、「情報公開を進めるオープンな市政」、「市民の納得が得られるクリーンな市政」の方針は、現在どのようなふうなものでしょうか。

① 市長のリーダーシップと説明責任

② 計画と実際の事業とのズレ

③ 情報公開の遅れと不透明性

④ 市民参加の形骸化

以上、4点の疑問点を指摘しましたが、市長の考えをお聞かせください

答 市長、総合政策部長、

総務部長

① 置かれている状況、社会や環境の変化を的確に把握し、その上で進むべきか否かを判断することがリーダーシップであると考えています。行政組織においては、行政目的である市民福祉向上を実現するために、目指すまちの姿を市民と職員に共有し、自ら能動的

に動くことのできる組織を作りあげることが、そのひとつであると考えます。

② 市のすべての事業は、総合計画や個別計画の理念に基づき実施しているため整合性はとれています。

③ 会議の開催案内や記録の公表など期間を定めているものについては、期間内に公表するよう周知徹底を図るなど、市民が市政に関する情報に取得できる環境構築に努めます。

④ パブリックコメントは、行政への市民参加の仕組みとして有効な手段であるものの、提出意見が少なく効果的な運用には課題があります。デジタル活用など、より効果的な市民参画の取り組みを進めます。



「その他の質疑・質問」

①各会派の代表質問の大項目についてはP4を参照ください

個人質問



創政会

安土の未来づくりについて

岡田彦士



問 **①** 下豊浦弁天住宅跡地の土地活用について、5年以上そのままであるが、どう活用されるのか

② 藤兵衛浜の現状、特別史跡内への追加認定について、また藤兵衛浜の石垣の下に眠るとされる信長公時代の遺構調査について

③ 特別史跡安土城跡の活用とその周辺整備をどのように考えておられるか
以上3点について伺います。

答 総合政策部長

総合政策部理事

① 弁天住宅跡地は、資材置き場等での一時的な活用が考えられますが、庁内だけではなく、地元住民の皆様の意見を聞きながら活用方法を検討します。

② 藤兵衛浜の追加指定は、2月に調査完了と所有者の同意を得て文化庁へ意見具申し、令和7年度中の指定を目指して

います。遺構調査は、歴史的重要性から県の「令和の大調査」への組み込みを働きかけます。

③ 安土城跡の価値を最大限高めながら周辺地域の活性化を図ることが重要です。五反田川の追加指定は、地域の意見を踏まえ検討し、県道2号バイパス整備等と合わせ保存と振興の両立を進めます。



「その他の質疑・質問」

①企業版ふるさと納税について

個人質問



創政会

雪野山グラウンド

藤村 健造

整備について



問 雪野山グラウンドは市内で初の天然芝サッカーグラウンドです。このグラウンドは近江八幡サッカー協会と関係者等の活動により、市が日本サッカー協会の芝生化モデル事業に応募し、承認を受けてサッカー関係者等で植え付けを行い、平成21年3月に竣工を致しました。

しかし竣工から約16年が経過し、芝生の状態が非常に悪くデコボコで競技中に怪我等が発生しています。また、昨今の猛暑日等で芝生が枯れています。自動式スプリンクラー等の整備についてお聞きします。

答 教育部長

雪野山グラウンドの芝生張替え等については、現在、芝生管理業務を市サッカー協会に委託し、同協会に芝生の補植をはじめ除草や芝刈り、散水等の適正管理に努めていただいております。散水については、従前は口径13ミリの散水栓からホースを

使って散水のみであったことから、昨年、散水栓の口径を20ミリに変更し、移動式のスプリンクラーを2基購入しました。現在のところ、埋設型の自動スプリンクラーの導入は計画していませんが、今後、施工方法や補助制度について情報収集と検討を進めてまいります。



個人質問



公明党

学校施設の

山本 妙子

集約化計画について



問 少子化問題や地球温暖化による熱中症のリスク、先生のプール管理における負担、プールの維持管理や改修にかかる費用等は大変深刻な課題です。今後は「中学校のプール施設は改修せず、民間プールの活用の方で調整する」とのことですが、民間プールの活用にあわせ水泳指導の外部委託の考えはありますか。

健康ふれあい公園には温水プールがあり、天候に左右されることなく一年を通しての計画・実施が可能となります。活用する考えはありますか。

答 教育部長

学校施設の集約化計画の「市立中学校の民間プールを活用しての水泳指導」につきましては、今後、令和8年度予算協議の際に、八幡西中学校の水泳指導において、指導者の外部委託を含めた施設利用を想定したいと考えております。また、利用する

民間プールについては、市内民間プールを対象に、学校からの移動距離を考慮して、利用施設候補を調整してまいりたいと考えております。



「その他の質疑・質問」

- ① 豊かな教育をめざして
- ② 心を育む文化会館事業について
- ③ 災害に強いまちづくりをめざして
- ④ 選ばれる自治体病院をめざして
- ⑤ 高齢者・障がい者福祉のデジタル化について

個人質問



チームはちまん

竹尾 耕児

新年度予算案について



問 新年度の予算は前年の430億円を大きく超え530億という過去最高の大規模な予算になりました。前年度比+23%超も過去最大です。しっかりと予算についての考え方を理解しなければいけないと思います。今回は予算ならびに行政運営の考え方について質問します。

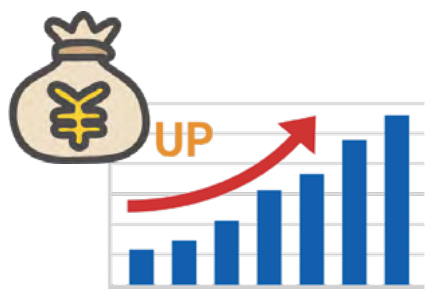
事業の継続性や妥当性についてどのように考えておられるのか。前年度比+100億円という大規模な予算が組まれた背景について説明をお願いします。

答 市長

一般会計の当初予算規模が増加した要因については、普通建設事業費が新市庁舎整備事業の継続実施等により約46億8千230万円の増、物件費がGIGAスクール構想における児童生徒1人1台端末の更新等により約17億3千300万円の増、扶助費が社会保障関係経費の需要の増等により約15億

2千70万円の増、補助費等が第79回国民スポーツ大会の実施等により約10億580万円の増等が挙げられます。

大型施設整備事業については、これまで蓄えてまいりました基金と抑制に努めてまいりました市債を活用することにより市民サービスを低下させず、また、国庫県費の確保、ふるさと応援基金をはじめとする特定目的基金の活用、財政措置が有利な市債の活用等さまざまな財源を確保したうえで、「やるべきことは速やかに実行する」との思いで予算を調製いたしました。



個人質問



日本共産党

玉木 弘子

ハラスメント根絶の取組みについて



問 働き続ける上でハラスメントのない職場環境は重要です。庁内でパワーハラスメントがあったことを公表し、市長は事実を真摯に受け止め、ハラスメント根絶に向けて取り組むと意思表明されました。初めて実施されたアンケート調査結果について伺います。

①対象者数・回答者数と割合・ハラスメントの種類別にハラスメントを受けたことがある、見たことがある割合はどうでしたか。

②結果の公表と、事後の対応についての考えを聞かせて下さい。

答 総務部理事

①総合医療センターを除く会計年度任用職員を含めた全職員1156名を対象に回答率49.5%の572名から回答がありました。ハラスメントを受けたことがある、見聞きしたことがあるの順に申し上げます。

すと、パワーハラスメント17.7%・20.0%、セクシャルハラスメント3.1%・3.7%、妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメント3.4%・3.2%、カスタマーハラスメント25.0%・12.7%という結果でした。

②結果については、現在資料を作成中で今月半ばに公表予定です。今後も相談窓口の周知徹底や研修の実施によりハラスメントのない職場づくりに向け適切に対応してまいります。



「その他の質疑・質問」

- ①国民健康保険について
- ②交通弱者の移動手段の確保について
- ③安土コミュニティエリア整備事業について

個人質問



凛成会

山元 聡子

令和7年度市政運営 基本方針等について



問 令和7年度は令和6年度に掲げられた市政運営基本方針を継続方針として謳っておられます。

答 職員一人ひとりが基本方針を念頭に施策を企画し、真に実行させるとして、4つの基本方針を掲げておられます。①トライアンドエラーを繰り返す②常に行、実現を前提に方策を考える③トップランナー集団を目指す④補い、助け合うとされていますが、それぞれの方針に対する令和6年度の市長の市政運営の取組評価について伺います。

答 市長

4つの基本方針は、普遍的な価値観を表しています。これまでの行政の常識とはかけ離れています。新しい時代に対応するために、我々行政職員が持たなければならぬ心構えであると考えています。やらない理由を見つけるのではなく、実現を

ベースに考えることが基本であり、地域密着移動手段確保事業では、他の市町ではやっていない方法で、いかにコストを抑え、ドアtoドアを実現し、製造・加工事業者創出促進事業では、民間事業者の新たな商品開発の一步をサポートするなど、意見を聴き工夫しながら事業を進めています。



「その他の質疑・質問」

①オーガニックビレッジ推進事業（有機農業促進）について

個人質問



政翔会

久郷 定彦

市庁舎整備事業について

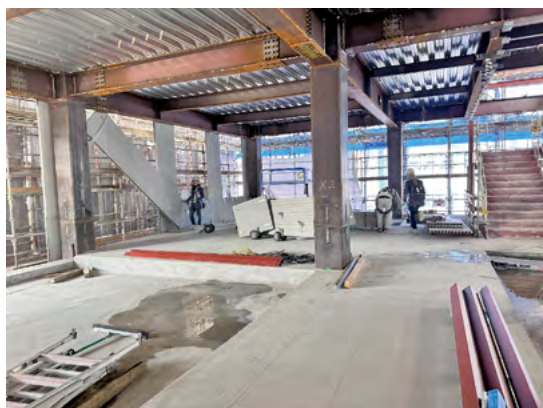


問 昨年からは始まった新市庁舎の工事、今年になり建物組立て工事、今年になり建物組立て工事、今年になり建物組立て工事も始まり工事工程通り整備が進められています。1期工事が終わり、来年令和8年1月から新庁舎での業務が開始されます。ところが新しく整備をされる正面玄関部分が、既存市庁舎と重なるため利用することができませんが、来年1月からの開業以降、利用される方々の玄関出入口はどのようなのですか。

答 市長

新庁舎の東側正面玄関は、現庁舎解体後に工事着手するため、供用開始時には使用できませんが、来庁者の皆様には、新庁舎の西側、北側および南側からの3ヶ所の出入り口から、アクセスを確保し、看板の設置など安全かつスムーズに出入りできるような環境を整えます。また、新庁舎の西側出入り口に設ける公用車駐車場については、第2期

工事が完了するまでの間、来庁者用駐車場として利用いただけるよう整備する予定です。新庁舎東側正面玄関の利用開始については、令和8年10月頃を予定しており、工事期間中は、皆様にご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



「その他の質疑・質問」

①近江八幡市立運動公園施設について
②トイレカー整備事業について

個人質問



創政会

間宮 泰樹

自治会の支援について



問 近年、少子高齢化による人口減少や核家族化が進むことで家族構成にも変化が見られ、生活環境の変化とともに自治会の態様も随分と変わってきました。

答 本市は、近江八幡市市民自治基本計画が定められています。自治会への加入率も年々減少し、近所付き合いの希薄化や共助意識の低下、また役員や活動の担い手不足による自治会の課題をどのように捉え、認識し、これらの課題からどのような支援及び施策を行っているのか伺います。

市長 自治会加入率の低下や高齢化による役員のなり手不足等の課題に対し、自治会加入パンフレットを作成・活用しているほか、自治会ガイドラインの作成を進めています。

また、既存の自治会館の改修や広場の整備に対する補助金と合わせて令和6年度から自治会

デジタル化補助金を創設したほか、令和7年度には、ごみステーションの設置及び修繕や樹木の伐採等に対する補助メニューの創設を予定しています。

引き続き、自治会等の地域コミュニティの役割と主体的な活動を尊重し、地域の皆様とともに考え、サポートしていきたいと考えています。



「その他の質疑・質問」

①県道2号バイパス整備について

個人質問



育政会

松村 務

まちを元気にするため 新幹線新駅誘致の研究を



問 リニア中央新幹線が全線開業すれば、東京・新大阪間は「のぞみ」主体から「ひかり」「こだま」優先のダイヤ編成になります。JR東海は、駅間距離の長い京都・米原間に待避駅がどうしても必要でしょう。市内に新幹線新駅誘致の可能性を探りましょう。

答 全国から、観光に・働きに・学びに来てもらえれば地域活性のチャンスです。働く場所を創り出し、魅力を高め、近江鉄道沿線の活性化もできるのではないのでしょうか。市長の所見を伺います。

市長 新幹線新駅は必要であると思えますが、財源を含めて諸般の事情を鑑み、今後研究していきたいと考えています。

新幹線新駅は本市にとって必要と考えていますが、「外から人を呼び込めるまちづくり」が大切となります。

本市としても、新幹線新駅の開業で「来てもらう」のではなく、「来たくなる」まちに駅を新設してもらうという発想が重要と考えており、そのために民間企業などのステークホルダーとしっかりとまちに対する思いを共有しながら協議等を進めていく必要があります。



【松村作 新幹線新駅構想】

「その他の質疑・質問」

①企業誘致など働く場所づくりで地域に活力を

②起業支援の強化のために今すべきことは

個人質問



ひめじ市議会

ふるさと音楽祭振興事業

について

山本英夫



問 なぜ、唐突に音楽の町なのか、八幡の文化、風土において、この音楽祭における八幡らしさというものが理解できません。

「一流の演奏家による音楽を」というキーワードについて、どのような内部協議がなされたのですか。また、1000万円という予算を計上されての事業であり、これだけの予算を投入することから、単年事業への投資とは、考えられませんが、この新規事業における、町づくりへの継続性について、どのようにお考えなのか、答弁を求めます。

答 総合政策部理事

本事業は、本市の歴史・文化を背景に新たな魅力を創出し、地域ブランドの向上、観光客誘致、文化振興を目指すものです。

「八幡ならではの」の魅力は、本市の歴史的価値の高い場所を会場とし、一流の音楽と融合させることで唯一無二の空間を創出し、深い感動を与える点にあります。

ます。

事業企画は、世界的な音楽祭を企画する音楽事務所との協議を踏まえ文化振興課で進めています。令和7年度事業の評価分析を行い、継続的に事業を展開すること、文化芸術創造都市としての認知度向上、地域経済への波及効果、文化意識の向上を目指します。



「その他の質疑・質問」

- ①町なみ保存について
- ②公設ポスター掲示板について
- ③交通安全対策について

個人質問



創政会

姉妹都市松前町との

中学生交流事業について

三上英夫



問 本市は、八幡商人が江戸時代に松前を拠点として漁場開拓や北前船での交易を行った歴史的背景から、昭和59年北海道松前町と姉妹都市提携を結び、今年度40周年を迎えました。これを機に、令和7年度から中学生の相互交流に取り組まれますが、北の大地を踏むことは本市の中学生にとっても魅力的なことだと思われれます。

そこで、両市のこれまでの交流実績や中学生交流の事業計画（目的・内容・派遣生徒等）について伺います。

答 教育長

松前町との交流実績としては、漁場開拓や北前船での交易を行った歴史的背景から、昭和59年に姉妹都市提携を結び、今年度で40周年を迎えます。この間、滋賀県人会や、江州音頭を通じての民間交流が続けてきました。次代を担う子どもたちが交流の歴史や文化的背景、互いのまち

を知ることが必要との双方の想

があり、松前町から中学生の交流事業の提案がありました。交流の内容については、滋賀県では得られない北海道の歴史・文化、松前町のまちづくりに触れる機会になるようなものにと考えています。生徒の募集方法については、市立4中学校からの推薦を予定しております。



【松前城】

「その他の質疑・質問」

- ①小中学校における不登校児童生徒への対応について
- ②児童虐待の現状と課題について

個人質問



創政会

南 祐輔

オーガニックビレッジ推進事業について



問 オーガニックビレッジ推進事業についてお聞きます。

① 農業従事者の減少・高齢化に対して、有機農業に関心のあつる若い新規就農者を集めたいとのことですが、有機農業に限定せず、幅広く若い担い手を確保する施策の方が、農業の活性化・次世代への継承には有効だと考えるがいかがでしょうか。

② どの程度の有機農地面積、参入農家数などを目標として考えていますか。

③ 有機農業とは、有機JAS認証を取ることで求めるのですか。

答 総合政策部長

① 担い手確保は、有機農業に限らず農業施策全体として対応すべき課題と考えておりますが、新規就農希望者が有機農業を志向する傾向にあることから、有機農業の推進は有効な手立てであるとも考えてお

ります。

② 策定中の有機農業実施計画において、令和11年度までの目標を、有機農地面積63ha（現：35ha）としております。また、有機農業に取り組む生産者数も目標値に掲げることとしています。

③ 活用する国の交付金要件としては有機JAS認証を求められていません。



「その他の質疑・質問」

① バイオマスを原料としたエネルギー利用について

② まちのコイン「ピワコ」について

個人質問



創政会

小西はげむ

教育行政について



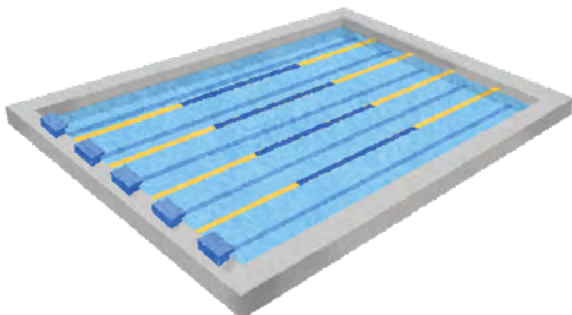
問 2月26日の代表質問の回答で、教育長から「八幡西中学校長寿命化改修」において、学校プールの改修は行わず、民間利用に切り替えるとの発言がありました。

改廃検討を始められた理由、どのような課題が議論されたのか、教育委員会定例会での協議プロセス、民間利用による保護者の費用負担、プールを廃止されない中学校との公平性等について説明願います。

答 教育長

将来の教育、社会の変化に対応した長寿命化改修とするため、八幡西中学校のプールを更新すべきか検討を始め、更新費、維持費、猛暑による授業の安全性、民間利用による財政負担、教員の負担等の課題について議論し、今後の方向性を出しました。定例会では、学校プール・水泳授業の課題等を説明後、小学校プールは残し水泳授業を行い、中学

校プールは改修せず民間利用へ切り替え、西中は令和8年度から民間利用の方向性であると説明しています。民間利用による保護者の費用負担の想定はなく、残る中学校の廃止時期は、西中の実績を見極め、移行時期を検討したいと考えています。



「その他の質疑・質問」

① 市立総合医療センターについて

② 高齢者施策について

予算常任委員会審査報告

委員長 道下 直樹

予算常任委員会は3月10日、11日、12日、13日、14日及び21日に委員会を開催し、『議第1号専決処分承認を求めることについて 令和6年度近江八幡市一般会計補正予算(第10号)』、『議第2号 令和6年度近江八幡市一般会計補正予算(第11号)』、『議第12号 令和7年度近江八幡市一般会計補正予算(第12号)』、『議第46号 令和7年度近江八幡市一般会計補正予算(第1号)』の5件について審査しました。採決の結果、議第1号は全員賛成で原案を承認、議第2号、議第43号は全員賛成で原案を可決、議第12号、議第46号は賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見』

議第2号について、「事業の遅れや委員会の未実施、必要人員の確保不足、また、事業所などへの補助事業においても減額補正があった。予算が承認されたからには執行する意識の向上に

努められ、遅延や未執行による減額補正とならないようにしてもらいたい」との意見。

議第12号について、「大

型施設整備事業のなかで、実施の必要性について時間を掛けて協議すべきものがある。業務を民間委託することでコスト削減になるとは考えられない。また、まだ検証がされていない事業に多額の予算が計上されているなど、再検討すべき事業があると思われるため反対する」との反対の討論。

それに対して、「大型施設整備事業を実施するため、積み立てた基金と抑制を進めてきた市債など様々な財源を活用し、市民サービスを低下することなく施策実施を見込んだ予算であると評価する」との賛成の討論。

また、その他の意見として、「人員体制が整わないまま予算執行を行うには各事業の見直しが必要である。ふるさと応援基金を



財源とする事業の中には、子育て事業や人件費にも充当されており、今後も事業を継続するために恒久的な財源を見いだすべきである。また、新規事業において、事前に実施予定の地域住民を含めた協議が行われていないのではないか」との意見。

総務常任委員会審査報告

委員長 岡田 彦士

総務常任委員会は、3月定例会において付託された諸案件を審査するため、2月14日及び3月17日に委員会を開催し、当委員会に付託された議案について、当局に対し詳細な説明を求め、議案審議などを行い審査しました。

○2月14日

その他議案について、議第39号は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

○3月17日

予算議案について、議第7号、議第11号、議第17号、議第21号の4件は、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。条例議案について、議第23号、議

第24号、議第25号、議第26号、議第27号、議第28号、議第36号、議第37号の8件は全員賛成で原案を可決すべきものと決し

ました。その他議案について、議第38号、議第40号の2件は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。議員提出議案について、会第1号の意見書1件は、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見』

議第21号について、「現行の医療制度の改革が病院経営に大きく影響しており、厳しい経営状況下において、コンサルの活用などにより経営改善に努められるとのことであるが、市民病院として存続するという観点から経営強化に向けて取り組んでいただきたい」との意見。

議第17号について、「文化会館自主事業において、例年の公演内容の踏襲以外にも例えば、令和8年度開催予定の安土城築城



450年祭のプレイベントとしてPRも兼ねたミュージカルや狂言の実施など、市の大きな行事を見据えた市民ニーズに応じた多様な企画についても検討をしていたいただきたい」との意見。

教育厚生常任委員会審査報告

委員長 山本 英夫

教育厚生常任委員会は、3月定例会において付託された諸案件を審査するため、3月17日に委員会を開催し、当委員会に付託された議案について、当局に対し詳細な説明を求め、議案審議などを行い審査しました。

○3月17日

予算議案について、議第3号、議第13号、議第15号、議第16号、議第18号の5件は、賛成多数で、議第4号、議第5号、議第6号、議第8号、議第14号の5件は全員賛成で原案を認定すべきものと決しました。条例議案について、議第22号、議第30号、議第32号、議第33号、議第44号、議第45号の6件は全員賛成で、議第31号は賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。議員

提出議案について、会第2号、会第3号、会第4号は賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

『審査過程における主な意見』

議第3号、議第13号について、「県内で国民健康保険料の統一化を進めると額が上がらざるを得ない状況で推移している。軽減対象者で滞納者が増えている。構造的に問題がある制度だと思っており、減少している被保険者に負担を求めるべきではない」との反対討論。

議第15号、議第16号について、「市は高齢者の社会参加や自立を進めているが、要支援の方が受けられないサービスがあり、改善を求める」との反対討論。

議第18号について、「疾病が増え、医療費も高額になる後期高齢者のみの保険制度ではなく、若者世代も含めた安心安全な保険制度を作るべきである」との反対討論。

議第31号について、「施



設を子育て支援団体として登録されている団体だけが減免となるのではなく、子育て世代が利用する際にも減免をするべきである」との反対討論。

会第2号について、「今後、維持管理は必要になってくるが、戦争の犠牲者を悼むこと、市全体として新しい管理方法を構築することを意見として賛成する」との賛成討論。

会第3号について、「すでに引き上げについては見送るとされており、意見書の内容は達成している。国の意向が示される時期まで待ってもよいのではないか」との反対討論。それに対し、「多くの難病やがん患者が安心して医療を受けるための制度であり、引き上げが白紙撤回に至っていないため賛成する」との賛成討論。

会第4号について、「在宅介護の命綱である事業所が廃止されると、再度再開することは難しいため、事業所へのサポートが必要である」との賛成討論。

産業建設常任委員会審査報告

委員長 竹尾 耕児

産業建設常任委員会は、3月定例会で付託された諸案件を審査するため、3月18日及び閉会日の3月21日に委員会を開催し、当局に対し詳細な説明を求め、議案質疑を行い審査しました。

○3月18日

予算議案について、議第9号、議第10号、議第19号、議第20号の4件はいずれも全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。条例議案について、議第29号、議第34号、議第35号の3件はいずれも全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。その他議案について、議第41号、議第42号の2件はいずれも全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

○3月21日

条例議案について、議第47号は全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。



総務常任委員会活動報告

総務常任委員会では、所管事務調査項目の「地域コミュニティの現状と課題について」、近年の地域コミュニティ、特に自治会で深刻な問題となっている自治会への加入率の低下や役員の担い手不足等について、令和5年度と令和6年度の2年間をかけ調査研究を行いました。令和6年度は令和5年度に実施した自治会運営に関するアンケート調査の結果等を踏まえ、課題の絞り込みを行い、課題解決に向けた自治会運営の持続可能性の向上を図る取組について、所管事務調査報告書「地域コミュニティの現状と課題～持続可能な自治会運営について～」としてまとめました。



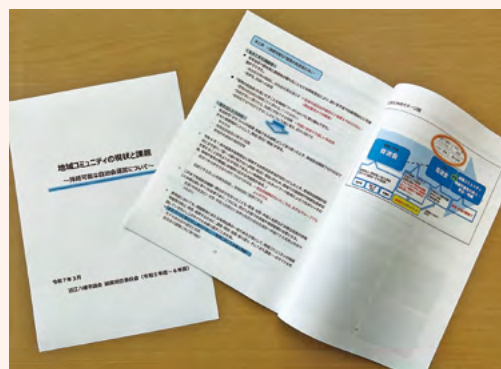
主な取組としては、令和6年5月17日、10月1日、11月13日、令和7年1月17日の4回にわたり、前年度に引き続き総合政策部まちづくり協働課の協力により、ワークショップ形式等にて、令和5年度実施の自治会運営に関するアンケート調査結果の分析と考察から課題の絞り込みと「理想の自治会とは」のまとめについて検討を行いました。

ワークショップ等の内容としては、1回目は、前年度の振り返りと今年度の取組の確認と意見交換を行いました。2回目から4回目は、自治会運営に関するアンケート調査結果等の考察から課題の絞り込みを行い、「防災」を切り口に、持続可能な自治会運営「理想の自治会」を見出し、まとめていく作業を行いました。

令和6年7月16日から18日には、長崎県佐世保市、佐賀県唐津市及び福岡県太宰府市への行政視察及び研修の実施を行いました。（議会だより61号掲載）

これらの令和5年度と令和6年度の調査研究をもとに、令和7年2月21日に調査研究報告書案について検討を行い、3月に調査研究報告書を「地域コミュニティの現状と課題～持続可能な自治会運営について～」としてまとめ、市連合自治会幹事会及び市長への報告を行いました。

今回の2年間の「地域コミュニティの現状と課題」に関する調査研究の取組過程及び報告書としてまとめた、その成果を、自治会等地域コミュニティの持続可能性の向上につなげられるよう、引き続き、実践と取組を継続し研鑽に努めてまいります。



〈視察項目〉

「議会改革と議会活性化の取組について」

精華町議会は早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度調査 2019 において、総合ランキング 19 位に到達されて以来、現在でもその順位を維持されていることから、議会改革の取組事例を参考にさせていただき、議会の活性化に繋げるため、視察を行いました。

精華町議会では、「通年議会」を導入しておられ、毎月全員協議会を開催し、研修会や勉強会等についても多数開催されています。委員会活動が活発であり、事務事業評価や政策提言を委員会単位でも行っているとのことでした。また、住民参加の促進として、ワールドカフェ方式で住民と一緒に考え意見交換をされていました。



今回の研修で学んだことを参考に、議会改革と議会活性化について今後も調査研究し、取り組んでいきたいと思います。

議会改革推進委員会の取組報告

近江八幡市議会では、市民に開かれた議会にするため、議会改革推進委員会を設置しており、議会活動等の改革・改善に関する協議を行っています。

当委員会の令和6年度の主な検討項目について、前年度からの継続検討事項である「市議会基本条例の見直しについて」、「個人質問の在り方について」などを協議するため委員会を計8回開催しました。また、市議会基本条例の見直しを行うことに伴って、2つのプロジェクトチームを結成し、オンライン手続きに関するプロジェクトチームの会議を計2回、市議会基本条例プロジェクトチームの会議を計4回開催し、それぞれ検討を行い、以下の結果となりました。

「市議会基本条例の見直しについて」

…近江八幡市議会基本条例の一部を改正、近江八幡市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正、近江八幡市議会委員会条例の一部を改正、近江八幡市議会会議規則の一部を改正

「個人質問の在り方について」

…時間短縮に向けて議員間の意識づけを行い、さらに、当局側の答弁においても時間短縮に協力してもらえよう議長を通して市長に申し入れを行いました。

近江八幡市議会議員研修を開催しました

令和7年1月28日に近江八幡市専任手話通訳員、近江八幡市聴覚障害者福祉協会より講師を招き、議員研修を開催しました。

近江八幡市の障がい者の施策や支援について、また、聴覚障がい者の方の市に対する要望など日頃感じておられる思いを聞くことができました。講演後は近江八幡市手話サークル連絡協議会によるミニ手話講座を開催し、日常で使える手話について学びました。

令和7年2月6日には、近畿大学 辻 陽教授を講師として招き、「地方議会の現状と課題」と題してご講演いただきました。

議会の位置付けや議員活動について改めて学び、また、近年進んでいる議会のデジタル化の現状や今後の課題など様々な内容を聴講しました。研修で学んだことを、今後の議会活動に生かしていきます。



故 西居 勉 氏 叙位・叙勲受章

元近江八幡市議会議員で令和6年12月に逝去された西居勉氏が、このたび従五位旭日小綬章を受章し、令和7年3月31日に伝達式を行いました。

故西居勉氏は、合併後、近江八幡市の初代議長を務められ、昭和58年から通算8期、約32年間もの長きにわたり、近江八幡市議会議員として市政の発展に尽力されました。

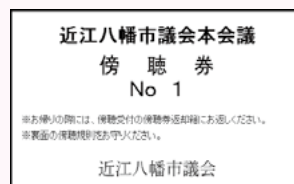


【代理授与された、妻・昭子様と子・湯坐麻里子様、孫・湯坐貴之様】

【議会の傍聴にお越しください】

市議会定例会、臨時会、各常任委員会は公開されており、どなたでも傍聴していただくことができます。傍聴される場合は、市役所4階議会事務局に申し出ていただき、傍聴券と当日の資料を受け取ってください。持ち物は必要ありません。

なお、お配りする傍聴券は当日に限り有効ですので、お帰りの際に「傍聴券返却箱」にご返却ください。



【テレビ放送やインターネット（YouTube）での放送について】

市議会本会議の様子は、ZTVのコミュニティチャンネルで生中継と録画放送をお送りし、議会が閉会した約2週間後には、同じくコミュニティチャンネルの「市政だより」のコーナーで本会議の模様をご紹介します。

また、インターネットでは、YouTube（ユーチューブ）による本会議の録画配信を行っています。本会議の開催期間中は、ライブ配信も行っております。



編集後記

清々しい若葉の季節となり、青々とした木々の緑を眺めていると、慌ただしい日々の中穏やかな気持ちになります。

令和7年第1回定例会では、令和7年度の当初予算が総額960億9519万円（内、一般会計530億）、前年度より約108億円の増額で成立しました。昨年に引き続き「子育て及び教育環境の充実」「産業基盤の強化」「高齢化する社会、分化する社会に対応する行政サービスの実現」「持続可能な社会の実現へのステップ」の4点を施策の基本方針として重点的に取り組むこととなっております。

この当初予算や施政方針について、会派代表者による代表質問などで多くの質問が行われました。大切な税金が、どのように市民生活に活かされていくのか、市議会としてしっかりとチェック機能を果たしていきたいと思います。

（広報広聴委員長 大川 恒彦）

令和7年第1回(3月)近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	付託委員会	会派	創政会								政翔会				①	②	③	④	⑤	⑥				
			議決結果	間宮泰樹	藤村健造	三上英夫	道下直樹	南祐輔	大川恒彦	岡田彦士	小西はげむ	久郷定彦	沖茂樹	辻正隆	小川広司	松村務	青木勝治	中塚理恵	山本妙子	森原陽子	玉弘弘子	竹尾耕児	山本英夫	山元聡子	
◇ 予 算																									
議第3号	令和6年度近江八幡市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第12号	令和7年度近江八幡市一般会計予算	予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第13号	令和7年度近江八幡市国民健康保険特別会計予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第15号	令和7年度近江八幡市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第16号	令和7年度近江八幡市介護保険事業特別会計（サービス事業勘定）予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第18号	令和7年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
議第46号	令和7年度近江八幡市一般会計補正予算（第1号）	予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
◇ 条 例																									
議第31号	近江八幡市子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
◇ 人 事																									
議第48号	近江八幡市副市長の選任につき同意を求めることについて	省略	不同意	賛成：8票 反対：12票（無記名投票）議長は採決に加わっていません																					
◇ 議員提出議案																									
会第1号	選択的夫婦別姓制度の議論活性化を求める意見書の提出について	総務	可決	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会第2号	国内民間建立戦没者慰霊碑に係る維持管理対策の更なる充実を求める意見書の提出について	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会第3号	高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げに反対する意見書の提出について	教育厚生	可決 （議長採決）	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	※	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
会第4号	訪問介護の基本報酬をはじめとした介護報酬の引き上げを求める意見書の提出について	教育厚生	可決	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

①：育政会 ②：公明党 ③：日本共産党 ④：チームはちまん ⑤：ひむれクラブ ⑥：凜成会

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 —…議長は採決に加わっていません。※可否同数の場合は議長採決

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案

議案番号	件名	付託委員会
◇ 専決処分		
議第1号	専決処分の承認を求めることについて 令和6年度近江八幡市一般会計補正予算(第10号)	予算
◇ 予 算		
議第2号	令和6年度近江八幡市一般会計補正予算(第11号)	予算
議第4号	令和6年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計補正予算(第1号)	教育厚生
議第5号	令和6年度近江八幡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)	教育厚生
議第6号	令和6年度近江八幡市介護保険事業特別会計(サービス事業勘定)補正予算(第2号)	教育厚生
議第7号	令和6年度近江八幡市文化会館事業特別会計補正予算(第2号)	総務
議第8号	令和6年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	教育厚生
議第9号	令和6年度近江八幡市水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設
議第10号	令和6年度近江八幡市下水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設
議第11号	令和6年度近江八幡市病院事業会計補正予算(第3号)	総務

議第14号	令和7年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計予算	教育厚生
議第17号	令和7年度近江八幡市文化会館事業特別会計予算	総務
議第19号	令和7年度近江八幡市水道事業会計予算	産業建設
議第20号	令和7年度近江八幡市下水道事業会計予算	産業建設
議第21号	令和7年度近江八幡市病院事業会計予算	総務
議第43号	令和6年度近江八幡市一般会計補正予算（第12号）	予算
◇ 条 例		
議第22号	近江八幡市安土福祉センター条例の制定について	教育厚生
議第23号	近江八幡市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第24号	近江八幡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第25号	近江八幡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第26号	近江八幡市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第27号	近江八幡市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第28号	近江八幡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第29号	近江八幡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第30号	近江八幡市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第32号	近江八幡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第33号	近江八幡市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る人員等の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第34号	近江八幡市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第35号	近江八幡市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第36号	刑法等の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総務
議第37号	デジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総務
議第44号	近江八幡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第45号	近江八幡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第47号	近江八幡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
◇ そ の 他		
議第38号	近江八幡市沖島辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画を変更することにつき議決を求めることについて	総務
議第39号	財産を取得することにつき議決を求めることについて	総務
議第40号	財産を取得することにつき議決を求めることについて	総務
議第41号	市道路線の認定につき議決を求めることについて	産業建設
議第42号	市道路線の変更につき議決を求めることについて	産業建設
◇ 議員提出議案		
会第5号	近江八幡市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	省略
会第6号	近江八幡市議政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	省略
会第7号	近江八幡市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	省略
会第8号	近江八幡市議会会議規則の一部を改正する条例の制定について	省略
会第9号	子どもの豊かな学びを保障するための教職員の人材確保及び学校における働き方改革の推進を求める意見書の提出について	省略
会第10号	学校給食の安定供給に向けた国の支援を求める意見書の提出について	省略

付託委員会欄の「決算」は決算特別委員会、「予算」は予算常任委員会、「総務」は総務常任委員会、「教育厚生」は教育厚生常任委員会、「産業建設」は産業建設常任委員会です。

6月定例会のご案内 令和7年第2回（6月）市議会定例会は、次のような日程で予定しています。それ以外の日は、休会の予定です。

開会日	質問日	委員会	閉会日
6月6日(金)	6月17日(火)、18日(水)、19日(木)	6月20日(金)、23日(月)、25日(水)	6月27日(金)

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せください。

〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地 Eメール: 020200@city.omihachiman.lg.jp FAX: 0748-36-7101



●インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
●印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷